

EVRIO [エブリオ]

取扱説明書

調整方法

工事店様へのお願い
この取扱説明書は必ずお施主様にお渡しください。

このたびは 当社の商品をご使用いただき、ありがとうございます。
安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
また、いつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

NODA

安全上
の注意

安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

表示内容を守らず誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、表示で説明しています。

警告 …「死亡または重傷などを負う可能性が想定される。」

注意 …「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される。」

お守りいただく内容の種類を、図記号で説明しています。

禁止 … してはいけない「禁止」内容です。

強制 … 必ず実行していただく「強制」内容です。

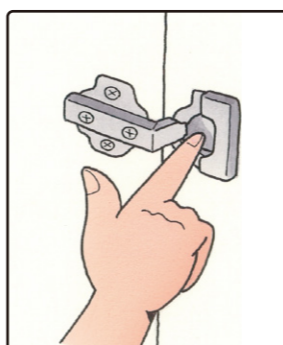
警告

禁止 取手以外の所にかけて開閉しないでください。



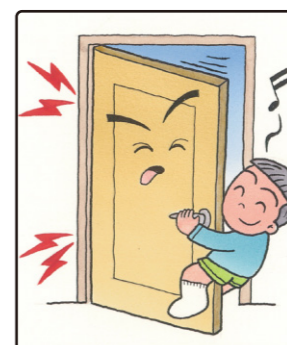
扉同士の間隙や扉と枠の間隙、スライド丁番のカップ内などに、指をはさんだまま扉を開閉すると大きなケガをする恐れがあります。
乳幼児が開閉操作を行わないよう、また、乳幼児が近くにいる時の扉の開閉に十分ご注意くださいようお願い申し上げます。

禁止 スライド丁番のカップ内に指を入れないでください。



指が挟まり大きなケガをする恐れがあります。

禁止 扉・取手にぶらさがらないでください。



転倒事故によりケガをする恐れがあります。

警告

禁止 暖房器具、エアコン、加湿器などを扉に極端に近づけたり、風が直接あたらないようにしてください。



扉の反り、変形や火災が生じる恐れがあります。

注意: 暖房器具、エアコン、加湿器などのご使用により、やむをえず扉に反りが生じる場合があります。

⚠ 注意

🚫 禁止 扉の開閉は静かにおこなってください。



乱暴に扱いますと、扉の破損や脱落によりケガをする恐れがあります。

🚫 禁止 扉によりかかる、ぶつかる等しないでください。



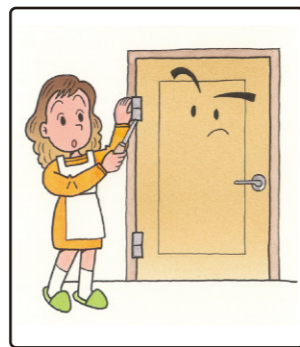
扉の破損や脱落、ガラス・ミラーの割れによりケガをする恐れがあります。

! 強制 押し開きの際は静かに開けてください。



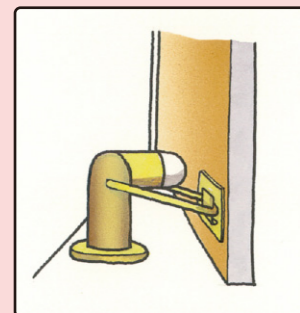
反対側に人がいてケガをする恐れがあります。

! 強制 扉にがたつき等の不具合が生じた時は、使用を中止し、施工業者に連絡してください。



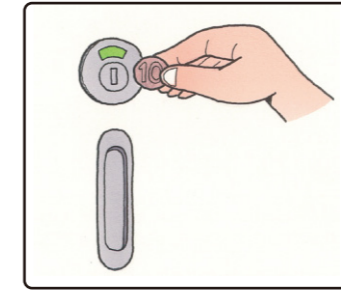
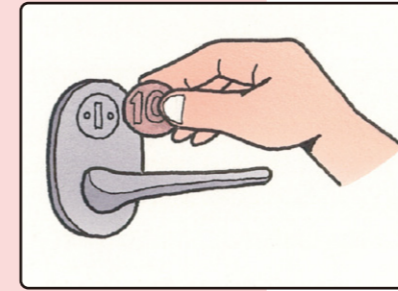
そのまま使用しますと、破損や脱落によりケガをする恐れがあります。また、無理に直そうとすると故障の原因となります。

! 強制 ドアを吹き抜けや高層住宅など風の強い所に使用する時は、ドアストッパーや市販のあおり止め等を取り付けてください。



風が強くと閉まると衝撃でガラスが割れたり、ぶつかってケガをする恐れがあります。

■ トイレなど中から鍵がかかってしまった場合の対処方法



トイレなど中から鍵がかかってしまった場合は、硬貨等を用いて外側の鍵溝を縦方向に回転させると外から開鍵できます。

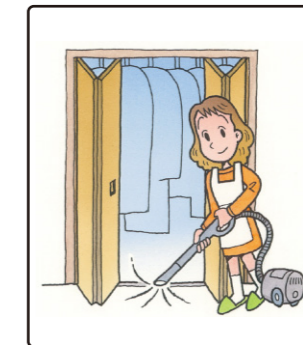
使用上のご注意

■ 粘着テープなどは表面に貼らないでください。



はがす時に塗膜や表面材を傷める恐れがあります。

■ レール内にたまったゴミやホコリは、こまめに掃除機等で取り除いてください。



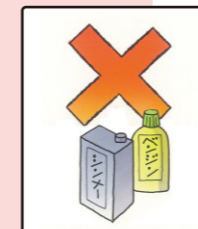
ゴミやホコリがたまったまま扉を開閉しますと故障の原因となります。

■ 扉、枠を清掃する際は…



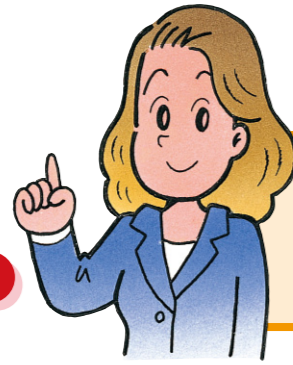
扉、枠を清掃する際は、乾いた柔らかい布を使用してください。乾いた柔らかい布だけで汚れが落ちなかった場合は、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませて硬く絞ってからふき取り、仕上げに乾いた布でふいてください。(決して強くふかないでください。)

ガラス、樹脂板を清掃する際は、柔らかい布に水を含ませ、表面を軽くふいてください。汚れが落ちたら、すぐに乾いた布でふきとってください。(できるだけ水洗いをおすすめします。洗剤液がガラス面に残ると、シミ・色ムラ等が発生することがあります。)



注意:シンナー、ベンジンなどや磨き粉等は絶対に使用しないでください。

調整方法



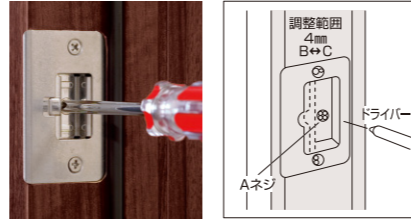
ご使用中にドア・引戸のガタつき・すき間等が発生した場合、各部を調整することでより快適にご使用いただくことができます。

内装ドア ※調整には電動ドライバーは使用しないでください。

調整ラッチ受けの調整方法

扉の調整

扉がガタつく場合は、Aの調整ネジを右に廻します。
扉がラッチ受けに納まらない場合は、Aの調整ネジを左に廻します。



丁番ドアの調整方法 ※調整には電動ドライバーは使用しないでください。

扉の上下方向の調整



プラスドライバー

下の丁番で調整(上下±2.5mmまで調整可能)

- 扉を上げる場合
プラスドライバーで右に廻します。
- 扉を下げる場合
プラスドライバーで左に廻します。

扉の左右方向の調整

ネジ調整の前後に固定ネジを緩める・締め付けるを確実に行ってください。
(左右±2mmまで調整可能)



※上下の丁番を調整してください。

ラッチ側に寄せる場合
調整ネジをプラスドライバーで右に廻します。
丁番側に寄せる場合
調整ネジをプラスドライバーで左に廻します。

扉の前後方向の調整

ネジ調整の前後に固定ネジを緩める・締め付けるを確実に行ってください。
(前後±2mmまで調整可能)



※上下の丁番を調整してください。

戸当り側(後側)に寄せる場合
調整ネジをプラスドライバーで左に廻します。
手前側(戸当りの逆側)に寄せる場合
調整ネジをプラスドライバーで右に廻します。

内装引戸 ※調整には電動ドライバーは使用しないでください。

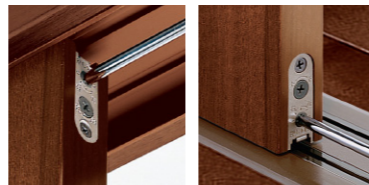
扉の上下の調整 <上下調整ネジは下部に付いています。4.5mmの調整が可能です。>

上と表示してある方向に廻すと扉が上がります。
下と表示してある方向に廻すと扉下がります。



扉の前後の調整 <前後調整ネジは上部と下部の4カ所についています。4mmの調整が可能です。>

右と表示してある方向に廻すと扉が右に動きます。
左と表示してある方向に廻すと扉が左に動きます。
※上部と下部4カ所に付いていますので、4カ所とも調整してください。



パネ(ストッパー)の調整 <扉上部の戸車の強弱表示があるネジで調整します。>

強と表示してある方向に廻すとストッパーが強く効きます。
弱と表示してある方向に廻すとストッパーが弱く効きます。



クローゼット ※調整には電動ドライバーは使用しないでください。

クローゼット(ピボットタイプ)

扉の調整

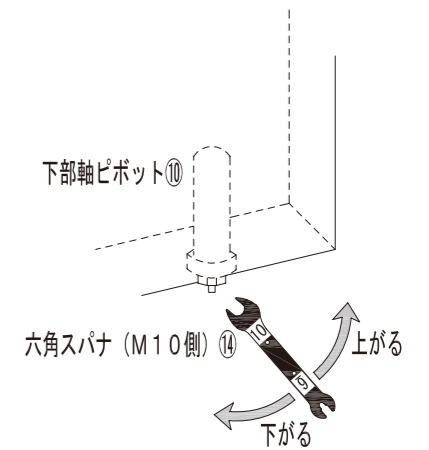
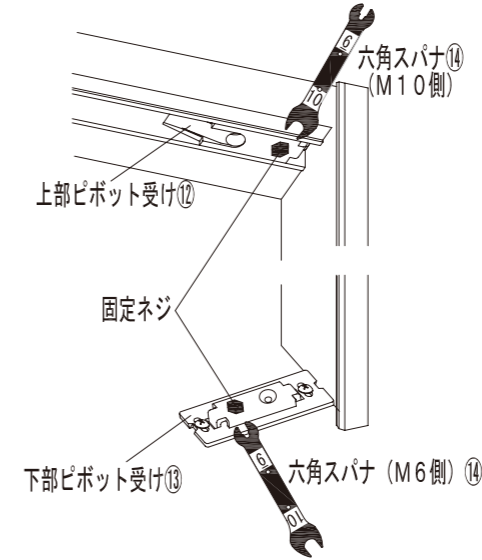
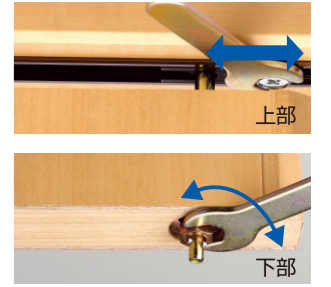
[左右の調整]

上レール、下レールにあるピボットのビスを緩めてから、左右移動をし、すき間を調整します。

※調整後は必ず同梱の六角スパナを使用し、固定ネジが回らなくなるまで締め付けてください。固定が緩いと扉が外れケガをするおそれがあります。

[高さの調整]

下部軸ピボットのボルトナットを、同梱のスパナで回転させながら高さ(上下)の調整をします。



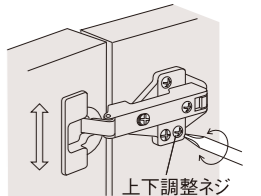
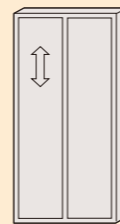
収納扉 ※調整には電動ドライバーは使用しないでください。

3方向調整丁番の調整方法

扉の上下の調整 <丁番の座金にあるネジで調整します。上方向1.5mm、下方向1.5mmの調整が可能です。>

上下調整ネジをゆるめてスライドヒンジを上下させ扉の上下調整をしてください。
調整後、上下調整ネジを締め直してください。

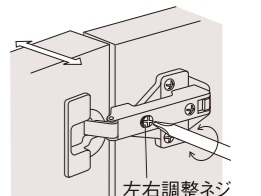
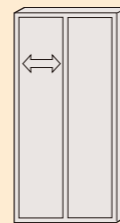
※調整する扉についている丁番の全てを調整してください。



扉の左右の調整 <丁番の座金にあるネジで調整します。扉内方向4mmの調整が可能です。>

前後調整ネジを締めたまま左右調整ネジを回して扉の左右調整をしてください。

※調整する扉についている丁番の全てを調整してください。



扉の前後の調整 <丁番の座金にあるネジで調整します。前方向1.5mm、後方向1.5mmの調整が可能です。>

前後調整ネジをゆるめて扉の前後調整をしてください。
調整後、前後調整ネジを締め直してください。

※調整する扉についている丁番の全てを調整してください。

